

## 第3回 桜が丘小地域 地域別懇談会の概要

日 時：平成23年10月24日(月)

午前10時～12時

場 所：市役所7階大会議室

参加人数：13名



### 1 グループワーク

本日は、第2回目で検討した「ありたい姿」の実現にむけて、「どういう取組みをしていくべきか」、また「その主体は誰なのか」について意見交換を行った。

その後、「地域のありたい姿」を総称し、その実現にむけた活動の方針などを表す「キャッチフレーズ」を作成した。

《A班》石橋さん、池田さん、宮津さん、辻さん

#### 【ありたい姿】

テーマ	ありたい姿	取組み
安全・安心なまち	<p>みんなで見守る安全・安心なまち</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病気になった時、医者及び病床がある</li> <li>・ 安全・防犯に強いまち</li> <li>・ 空き家の見廻り管理</li> <li>・ 普段からの防災訓練</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災(防犯)講習会を実施する</li> <li>・ 朝・夕に交差点で見守りをする</li> <li>・ 防犯灯をつける</li> <li>・ 普段見かけないひとをみたときには声を掛ける</li> <li>・ 月3回防犯協会中央支部と合同で地域のパトロールをしている</li> </ul>
笑顔で楽しく暮らせるまち	<p>笑顔で楽しく暮らせるまち</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ なにか目玉になる様な物をつくり、それをアピールしていく</li> <li>・ 住民交流の場を設ける(コーヒー店等)</li> <li>・ 静かな、穏やかなまち</li> <li>・ まつりを通じて、みんながつながるまち</li> <li>・ 会話の多いまち</li> <li>・ 笑顔で楽しく安心して暮らせるまち</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ふれあい秋まつり(川中吹奏楽、阪急百貨店、年1回)</li> <li>・ 昔遊びを小学校、保育所で(年1回)</li> </ul>
マナーの向上	<p>マナーを守り、お互いが注意し合えるまち</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 犬のフンの始末</li> <li>・ マンション入居者のマナー</li> <li>・ 人とのふれあいマナー</li> <li>・ たばこのポイ捨てのマナー</li> <li>・ 高齢者の方の路上のマナー</li> <li>・ 地域外の人とも挨拶をする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 気がつけばゴミを拾う</li> <li>・ 不法立看板、ビラの取り締まり(業者対策)</li> <li>・ 路上通行の方の、一言運動</li> </ul>

テーマ	ありたい姿	取組み
高齢者にやさしいまち	高齢者に声をかけあうまち <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者に配慮したやさしいまち(バリアフリー)</li> <li>・ 福祉の話、認知症の話をして欲しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スポーツ 21 の健康体操を地域で行う(3月に1回)</li> <li>・ 地域包括支援センターと連携(連絡)する</li> <li>・ 子どもの時からのしつけをしておく</li> </ul>
そのほかの意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 女性の意見を聞く</li> <li>・ 季節の樹木が楽しめる公園</li> <li>・ 募金活動、自治会員外の方のお願い</li> <li>・ 町内月1度の美化運動に協力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域活性化の一つとして買い物は地元です</li> </ul>

【決まったキャッチフレーズ】

誰かれも 笑顔でつなぐ おせっかい



《B班》木坂さん、杉本さん、越田さん、津田さん

【ありたい姿】

テーマ	ありたい姿	取組み
世代超越	お互いが顔見知りのまち <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもみこし(金太郎みこし)</li> <li>・ 源氏祭参加</li> <li>・ コミュニティ参加で多くの交流</li> <li>・ 若い人が地域のお祭りに参加できるように知名度が欲しい</li> <li>・ コミュニケーションの充実(メール操作研修など)</li> <li>・ よさこい踊り隊の結成(近隣老人ホームの参加、自治会行事への参加)</li> <li>・ 若い人をもっと奉仕活動に参加させる</li> <li>・ 自治会行事への全世代参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市組織の改編(民生、自治会、福祉三者一体)</li> <li>・ 団塊の世代への声掛け</li> <li>・ ボランティアの有償化(ビジネス型NPO法人)</li> <li>・ 自治会のないところに、自治会をつくる</li> <li>・ 未加入者の呼びかけ</li> <li>・ 福祉委員会の増員</li> <li>・ 自治会長への参加の要請</li> <li>・ ボランティアの内容を示して、参加メンバーを募る</li> </ul>

テーマ	ありたい姿	取組み
豊かな自然	身近な自然に触れることができるまち 地域の伝統 <ul style="list-style-type: none"> <li>世界のナイチンゲール像があること(案内標識整備)</li> <li>小川の復活</li> <li>自然環境(桜 春、紅葉 秋)</li> <li>良好な観光ルートの整備</li> <li>満願寺の紅葉や、あじさい祭のPR</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>IT(PC)活用</li> <li>個人の体験をネットにあげる</li> <li>後につなげる人を育成する</li> </ul>
子育て	地域参加の子育て <ul style="list-style-type: none"> <li>子ども達が球技が出来るような場づくり</li> <li>道路を一時遊び場に活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各世代の招集(PTA との連携)</li> <li>地域のPRの充実</li> </ul>
	皆が集える居場所づくり <ul style="list-style-type: none"> <li>目的がなくてもその場に行けば、誰か相手が居る場所が常にある</li> <li>満願寺の行事に参加(3 世代で、多くの交流が出来る)</li> <li>高齢者が無料で一日のんびり過ごせる拠点の確保</li> <li>自治会の交流で、顔見知りを増やす</li> <li>坂の上の宝塚市の自治会との交流を強くしたい</li> <li>地域住民全体の活動行事への参加(体育祭、文化祭、バス旅行など)</li> <li>お年寄りの健康状態がすぐに分かる地域(黄色の旗運動)</li> <li>地域全員が顔見知りになる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>祭などの行事(文化祭、体育祭など)で、皆が顔見知りになる</li> <li>自治会館の共同利用の検討(会館が多すぎる)</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会長の権限がない</li> <li>やりがいのある社会奉仕活動</li> <li>防災の拠点が活用しにくい追加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災倉庫の設置</li> <li>防犯パトロール</li> </ul>

## 【決まったキャッチフレーズ】

創り上げよう!! 世代を超えて 住みよいまちに  
咲かそう桜 心の中に



## 《C班》乾さん、六反田さん、森さん、浜上さん、山本さん

## 【ありたい姿】

ありたい姿	取組み
住民が安心して暮らせる環境のある地域 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ お年寄りが、自宅外や会館で集まれる環境づくり</li> <li>・ 年齢を問わず交流出来る場所が欲しい</li> <li>・ 団地の高齢者が外出できるように</li> <li>・ 自転車の通行帯をつくる</li> <li>・ 車いす、乳母車でも安心して外出できる歩道</li> <li>・ エレベーターの設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゴミ置き場を美しくする(近隣で協力)</li> <li>・ 身近な所の清掃をする</li> <li>・ ゴミが落ちていたら拾う</li> <li>・ 信号があるところで、信号を守るように注意する</li> <li>・ 犬のフンを持ち帰らない人がいたら声を掛ける</li> </ul>
空気・緑・夜景のきれいなまち <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空気のおいしい山手町</li> <li>・ 高台なので、夜景がきれい(小戸墓地のお地藏さん前)</li> <li>・ 緑と花のあるまちづくり</li> <li>・ 自然が多く、静かな環境</li> <li>・ 多目的公園がある地域</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 挨拶を励行する</li> <li>・ 子どもからお年寄りまで遊べることをする</li> <li>・ みんなで仲良く会話することが出来る雰囲気欲しい</li> <li>・ 挨拶が良く交わされる地域</li> <li>・ 自治会活動が活発な地域(若い世代の参加)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 団地内で声を掛ける</li> <li>・ 挨拶を交わす</li> <li>・ 日頃から協力的な人に参加を呼びかける</li> <li>・ 朝の通勤、通学時に自分から挨拶をする</li> <li>・ 子どもと地域の大人との交流会で、顔見知りになるように</li> <li>・ ふれあいサロンの実施</li> <li>・ 子どもをターゲットにした催しをする</li> <li>・ 自治会活動が活発になれば、みんなで仲良く話が出る</li> <li>・ みんなでわいわい出来る雰囲気づくり、サークル活動</li> <li>・ 子どもからお年寄りまで参加自由の自治会サポータークラブづくり</li> <li>・ 若い人に負担の少ない自治会の役割分担</li> <li>・ 自治会未加入者への加入の働きかけ</li> <li>・ いろいろな行事に参加する</li> <li>・ 自治会であいさつ運動をする</li> <li>・ 地域活性化の一つとして、買い物地元で</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 移動販売所の来る地域</li> <li>・ 高齢者の一人暮らしでも安心して暮らせる</li> <li>・ 多世代仲良く交流できる</li> <li>・ 認知症になっても安心して暮らせる</li> <li>・ 障がいがあっても、安心して自由に外出して暮らせる</li> <li>・ 孤独死のない地域</li> <li>・ 子どもが安心して暮らせる地域</li> <li>・ 商店、事業所と一緒にまちづくり</li> <li>・ 健康な高齢者の多い地域</li> <li>・ ラジオ体操が出来ればよい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身近な所で、会館を活用してふれあいサロンを開催する</li> <li>・ 認知症について、啓蒙サポーターを養成</li> <li>・ 地域のボランティアを増やす</li> <li>・ 自治会で声掛け見廻り活動をする</li> <li>・ 健康で居られるように様々な努力(歩く、運動)をする</li> <li>・ 宅配をしてくれる商店を開拓する</li> </ul>

ありたい姿	取組み
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害時助け合うことが出来る地域</li> <li>・ 防災訓練の実施</li> <li>・ 住民同士のつながりがある地域</li> <li>・ 日頃の見守り活動がある地域</li> </ul>	

【決まったキャッチフレーズ】

つながりで 安心を届けあう 桜小地域





## 2 各班の発表概要

### A 班

- ・ キャッチフレーズは、「誰かれも 笑顔でつなく おせっかい」になった。ありがたい姿は、見知らぬ人に会ったら声をかけよう、という気持ちや、気が付けばゴミを拾おう、といった身近な生活における姿勢についてのものが多く出された。



### B 班

- ・ 世代を超えて、子どもからお年寄りまでのことを幅広く考えようというのが根底にある。後継者の育成が重要で、そのためにもボランティアも無償ではなく有償にしてはどうかという議論をした。買い物難民が出てくる場合に備えて、ネット注文についての勉強会をしてはどうかというアイデアが出た。



### C 班

- ・ 住民が笑顔で暮らせるために、安心を確保して、みんなで高齢者を大切にしながら、互いに支えあう、という気持ちを込めた。自治会活動への参加のハードルを下げるために、自治会の「サポーター」になってもらう仕組みについてアイデアが出た。配食サービスや見守りなどを通して、高齢者が安心して暮らせる環境をつくっていきたい。



## 3 おわりに

最後に、市：本荘総合政策部長よりひとこと。

- ・ 最初はワークが難しいと感じられたかもしれないが、最後は楽しんでキャッチフレーズづくりをしていただけたのではないだろうか。班ごとに決められたフレーズは、市で一つにまとめる作業をした後に、また地域で確認をしていただく予定にしている。
- ・ 10年先を見据えて総合計画を策定中で、小学校区別に地域別構想をつくる。来年度以降は、一定の財源と権限を地域に渡していく「地域分権制度」を、みなさんと一緒に考えていきたい。今後みなさんには、地域の課題などについて掘り下げて考えていただいて、市としては人手などの面で精一杯お手伝いしたいと考えている。リーダー養成講座なども実施するので、ご活用いただきたい。